

## 会議録

会議の名称	令和8年度 第1回東秩父村総合教育会議
開催日時	令和8年5月26日(火) 12:58~13:25
開催場所	東秩父村役場 2階 新会議室
出席者	高野村長、小林教育長、江原教育長職務代理者、大澤教育委員 鈴木教育委員、奈良教育委員、宮崎総務課長、篠崎教育委員会事務局長 教育委員会事務局 岩田
会議記録	発言記録 ・ <u>要点記録</u>
議事内容	<p>1. 開会 (総務課 宮崎課長)</p> <p>2. あいさつ (高野村長) (小林教育長)</p> <p>※協議事項に入る前に、総務課宮崎課長より「総合教育会議」の概要説明 →「地方教育行政の組織および運営に関する法律」に規定されている会議であり、村長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、連携して効果的な教育行政の推進を図るもので、村長および教育委員会で構成されるもの。今回の協議事項においても、そのような認識で協議等をお願いしたい。</p> <p>3. 協議事項</p> <p>(1) 東秩父村小中一貫教育校推進計画について</p> <p>■【教育委員会事務局 篠崎局長より概要説明】</p> <p>・篠崎局長より、事前に配布した資料「東秩父村小中一貫教育校推進計画」に基づいて、内容説明を行う。</p> <p>今後の小中一貫校を進めていくために、学校あり方検討委員会の答申や村長の意向に沿った形で、令和11年度に施設分離型の小中一貫校の開校し、その後、施設一体型小中一貫校を目指す方向性であることを説明。</p> <p>説明後、委員のみなさまから自由にご意見をいただく。</p> <p>■【質疑・ご意見等】 (→は、質問等に対する回答)</p> <p><u>委員</u> 今回の計画はスケジュール的に多忙となっていると考えられる。施設分離型の小中一貫校で始めるにしても、小中学校児童生徒と先生方に負担がかからないように進めてほしいと思う。また、令和11年度に開校することは決定的なのか。</p> <p>→ 今後、小学校の複式学級が増えることにより、村に配置される県の教職員が極端に減ってしまう可能性があるため、中学校と一体にすることにより、教職員の不足を補いあうような形を早期に取りたいこともあり、段階的に小中一貫校を進めていきたい。現状、村が教職員を任用することも、予算の都合があるため、難しい面もある。</p>

**委員** 小中一貫校の方針もあるため、村の予算をもっと教育に配分してもよいのではないか。

→ 村の全体予算の約2割程度が教育費となっており、児童生徒一人あたりに対して、予算比率は大きいと認識しているが、今後の小中一貫校の予算も含め、検討していきたい。

**委員** 小中学校施設一体型は、校舎等どのように想定しているか。

→ 今のところ、東秩父中学校の用地に小学校部分を併設するように想定しており、今後の小中一貫校開校準備委員会での協議にもよるが、新しく校舎を建設することも検討する必要があると考える。

**委員** 以前、学校あり方検討委員会で視察した小中一貫校では、軽量鉄骨校舎（リース契約のもの）が小学校部に併設されていたが、そのような校舎も現時点で考えているか。人数が少なくなれば、それを業者に返すなどの対応ができ、財政面としてもよい部分があるのではないか。

→ そのような校舎形態もあることを含め、小中一貫校開校準備委員会等で決めていければと考えている。

**委員** 小中学校の施設については、新しく建設するにしろ、どのような形にするか具体的な方向性を確認する必要があり、共同調理場や体育館などをどうするかも含めて考えていかないと協議が難しい。

→ それも合わせて、今後の小中一貫校開校準備委員会等で協議できれば。

**委員** 小中一貫校となると学校名や校長や教頭職については、どのようなになるのか。

→ 学校名は今後の協議によるが、施設分離型の場合は、そのまますることも可能であると想定されるが、小中一貫校となる以上は、通称などを設定することもありえる。校長や教頭職は、小中学校別々に置くことも1名とすることも可能であるが、そのような小中学校の体制も含めて、今後検討することになる。

## (2) その他について

- ・特になし

### ■本日のまとめ

◎今回の総合教育会議で協議事項にあげた「東秩父村小中一貫教育校推進計画」については、審議の結果、特に異論はなかったため、基本的には内容の通り進めていく方向とする。

### 8. 閉会（総務課 宮崎課長）